

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	3	110	頁

目名
会計管理費

事業名称
会計管理事業

1. 概要

目的	公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う	対象	市民・業者・職員等
事業概要	○会計管理事業・・・歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) 支払に伴う伝票審査 基金の管理・運用 決算の調製 窓口収納業務 経理事務説明会の実施 公金管理運用検討委員会の開催		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	会計管理事業	歳計及び歳計外現金の出納・保管等	役務費	2,661	2,425				2,425	3
計				2,661	2,425	0	0	0	2,425	

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正かつ迅速な事務処理		目標年度	—	指標の設定理由		
	数値	—				①支払事務を迅速に行うためには、正確な経理事務を行う必要がある ②公金の適正管理、運用を行うため		
活動指標	指標	a	経理事務説明会の実施	b	公金管理運営委員会の開催	c		d
	数値	目標	年2回(H23~)	目標	年2回	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
適正かつ迅速な事務処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 経理事務説明会の実施	回	1回	2回	1回
		100%	100%	50.0%
b 公金管理運営委員会の開催	回	2回	2回	2回
		100%	100%	100.0%
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
<p>決裁時のチェック等が不十分で伝票を返却することが多い。併せて24年度から財務会計システムが変更され、1年経過したが、職員が新システムに精通していない状況にある。</p>
対応（改善点等）
<p>出来るだけ多くの職員が説明会に参加できるよう、開催時期及び回数を検討する。また、庁内ネットワークを利用し、経理事務の周知・徹底を図る。</p>

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

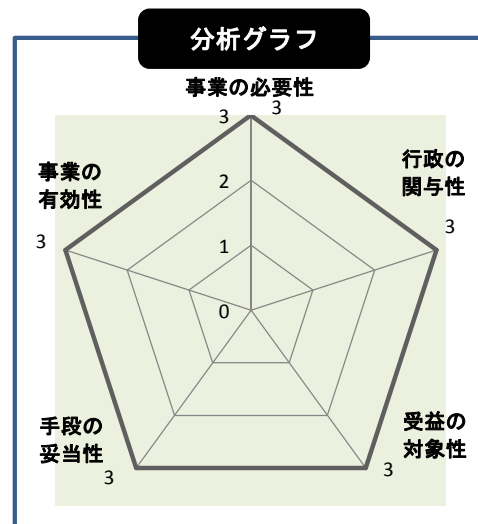
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		2,270	1,577	2,425	1,645
	うち経常経費	2,270	1,577	2,425	1,645
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,270	1,577	2,425	1,645
	うち経常	2,270	1,577	2,425	1,645
事業費に係る人件費		30,439	30,745	30,056	25,368
事業費に係る人役		6.95	7.15	7.00	5.82

6. H26年度予算の方向性

方向性
減額
理由
<p>経常経費は必要最低限の事務費計上である。 なお、平成25年度5月から職員1名減となっている。</p>

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 必要不可欠な事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が実施しなければならない事業である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民、業者に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段であると思われる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 公金出納事務が適正に執行されている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き公金の適正管理に努めること。